

授業概要

科目名		動作観察・分析学Ⅲ		授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間（2単位）	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
健康・疾患の動作観察を行い、運動学的に適切に正確な記述が行えること。また健康人における動作のバリエーションに気づき、適切に記述が行える。それらを通じてトップダウン評価を理解する。 また、運動連鎖とその不全についての理解を深め、正常動作の異常所見との比較を行うことを目指す。								
〔授業全体の内容の概要〕								
2年次に行った基本動作の観察・分析をつきつめ、トップダウン評価に基づいた記述を行う。 動作を観察・分析する上で、全体像と各関節の運動学とを併せて捉え、該当動作実施時に起こる、現象の理由を理解する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
基本動作・歩行動作の観察を運動連鎖の観点を加味しながら行うことができるようになる。 運動連鎖不全が発生する原因や、どのように運動が連鎖するかについて理解することができる。								
回数	講義内容							
1	姿勢発達のおさらい							
2	運動連鎖不全 ～マルアライメントとは？～							
3	機能障害からみた運動連鎖不全							
4	各部位の障害と運動連鎖不全① ～肩甲骨と胸椎～							
5	〃							
6	各部位の障害と運動連鎖不全② ～腰椎と骨盤～							
7	〃							
8	各部位の障害と運動連鎖不全③ ～股関節、膝関節、足関節～							
9	〃							
10	運動連鎖不全例 ～座位の異常～							
11	〃							
12	〃							
13	運動連鎖不全例 ～立位の異常～							
14	〃							
15	〃							
	定期試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
テキストは使用せず、適宜資料を配布する								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
動作観察・分析の演習内容、筆記試験で判定する								